

大学の教育研究上の目的

令和7年4月1日

○大学の目的 大学学則第1条

山梨県立大学は、「グローバルな知の拠点となる大学」、「未来の実践的な担い手を育てる大学」、「地域に開かれ地域と向き合う大学」たることを希求し、人間と社会に対する学術的研究、豊かな人間性及び専門的な職業能力を備えた人材の育成並びに地域社会に対する実践的な貢献を通じて、豊かで活力ある社会の発展に寄与することを目的とする。

○学部・学科の目的 大学学則第3条、3つの方針

(1) 国際政策学部

グローバルな視点に立って地域社会の問題を考え、地域の自然、文化、産業を豊かにして地域の活力をつくる人材、アジアをはじめとする世界各国と地域社会をつなぎ、平和で豊かな国際社会の形成に貢献できる人材を育成する。

① 総合政策学科

グローバルな視点に立って地域社会の問題を考え、地域の自然、文化、産業を豊かにして地域の活力をつくる人材の育成を目的とする。

② 国際コミュニケーション学科

アジアをはじめとする世界各国と地域社会をつなぎ、平和で豊かな国際社会の形成に貢献できる人材の育成を目的とする。

・地域マネジメントコース

地域の人的・物的資源が持つ価値をとらえなおし、地域社会が直面している課題（人口、資源、産業、経済等）についての専門的理解に基づいて、データ分析やフィールドワークを通じて主体的・協働的に解決に取り組み、公共政策・まちづくり・ビジネスの分野から地域の未来に貢献できる人材の育成を目的とする。

・創発デザインコース

地域の自然・文化・産業をヒューマンセントリックの視点から統合的に解釈し、文理融合（自然科学・人文社会科学）の方法論を用いて地域の将来像を描き具現化する主体的・創造的実行力により、地域変革を牽引する人材の育成を目的とする。

・国際関係・観光メディアコース

グローバルな政治経済情勢をとらえ、観光とメディアに関する専門知識を身につけ、社会の多様性を認識した上で、多角的な視点で地域社会の価値創造に向けて主体的・協働的に取り組むことができる人材の育成を目的とする。

・国際コミュニケーションコース

国際化に対応する幅広い教養を身につけ、多様な文化や価値観を知り、グローバルな視点に立って国際社会や地域社会の課題に向き合い、だれ一人取り残さない社会の実現に向けて主体的に取り組む協働できる人材の育成を目的とする。

(2) 人間福祉学部

高度な専門知識と技術、深い共感的理解、問題解決への知的探究心、協働できる力を持ち、乳幼児から高齢者まで誰もが人間らしく、その人らしさを発揮して生活できる地域社会づくりに主体的かつ実践的に貢献できる人材を育成する。

① 福祉コミュニティ学科

福祉行政で活躍する人材、地域の福祉を担う人材、様々な福祉サービスを提供する人材、福祉のリーダー的役割を担う人材の育成を目的とする。

② 人間形成学科

高い使命感や責任感、倫理観のもと、高度な専門知識と技能、論理的な思考、創造的な表現、問題解決への知的探究心、協働できる力を持ち、全ての子どもが人間として尊重され、自己実現に向けて成長できる地域社会づくりに主体的かつ実践的に貢献できる人材の育成を目的とする。

(3) 看護学部・看護学科

人間や社会を看護学的に探究する能力、倫理的な判断力と科学的な思考力、専門職業人としての豊かな人間性を兼ね備え、優れた看護実践により地域に貢献できる人材を育成する。

○大学院の目的 大学院学則第1条

山梨県立大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、学術研究を創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を育成し、豊かで活力ある社会の発展に寄与することを目的とする。

○修士・博士前期課程、博士後期課程の目的 大学院学則第2条

(1) 修士課程・博士前期課程

広い視野に立つて精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培う。

(2) 博士後期課程

専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養う。

○研究科の目的 大学院学則第3条

(1) 人間福祉学研究科

子ども家庭福祉を中心に子ども学、教育学、社会福祉学の理論及び応用を教授研究し、人間福祉学の研究的視点を持つ実践者、臨床的視点を持つ研究者等の高度な専門職人材を育成する。

(2) 看護学研究科

看護学の理論及び応用を教授研究し、看護学の進展に寄与するとともに、高度専門職業人、看護学教育者及び看護学研究者等の人材を育成する。

○専攻科の目的 専攻科規則第1条、第2条

山梨県立大学専攻科は、本学の理念を基盤とし、精深な程度において、特別な事項を教授し、科学的な思考力と倫理的な判断力を備え、専門的な職業能力を有する実践者を育成し、地域社会に対する実践的な貢献を通じ、豊かで活力ある社会の発展に寄与することを目的とする。

(1) 助産学専攻科

豊かな人間性、適切な判断力と高い実践能力によって母子と家族に適切なケアを提供できる助産師やウィメンズヘルス全般を支援する能力を養い、母子保健及び助産実践活動の発展に寄与する自立した助産師を育成する。